

創生

夢を持って挑めば、必ず実現する

テーマ
成功より成長
～すべての活動は会員の利益の為に～

Hands^{ハンサム}ome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：武海 章 編集責任者：担当副会長 水 康德 制作・編集：メディアコミュニケーション委員会：委員長 河津慎二 印刷：東京印刷株式会社

11月例会開催!



会全体で取り組む！ メディア戦略本格始動!

例会出欠、会の情報の取り込み、スケジュールなど積極的に会員が活用することによって、会の効率化を図る事が伝えられた。使用説明は実際にインターネットへ接続して、例会出欠用確認フォームの説明を中心に行われ、次回からの利用促進が期待される。質疑応答では具体的な意見も出た。

今年度から取り組んでいる対外(一般の方)向け広報活動のテレビメディア利用である中央会テレビ番組「パーフェクト中央会」の第1回が前月に中海テレビ放送パブリックアクセスチャンネルにて放映された。その番組を収録の様子もまじえ、15分程度のダイジェスト版を作成し、今後は一般の方にも注目されるようになることを認識していた。そのため例会にて放映した。出演者や収録スタッフ全てが中央会会員である番組制作



「パーフェクト中央会」。第1回が前月に中海テレビ放送パブリックアクセスチャンネルにて放映された。その番組を収録の様子もまじえ、15分程度のダイジェスト版を作成し、今後は一般の方にも注目されるようになることを認識していた。

平成17年11月15日(火)「ホテルサンルート米子」において、メディアコミュニケーション委員会が担当により11月例会が開催された。例会開催にあたり、武海会長から鳥取県団体中央会50周年式典への参加報告と今回の例会にかかわる意義などの内容による挨拶のあと、委員長タイムでは村岡政治行政委員長が「転職のすすめ」として、自分の転職体験をもとに色々な方々と知り合ってきた経験が今に生きていると語られた。今回の例会は、3部構成となっており、会全体でメディア、広報に取り組みたいことを目的に行なわれた。



自分の転職体験をもとに色々な方々と知り合ってきた経験が今に生きていると語られた。今回の例会は、3部構成となっており、会全体でメディア、広報に取り組みたいことを目的に行なわれた。

第1部 西部青年中央会ホームページ使用方法の説明
当会が昨年度に大幅リニューアルを行った会員参加型のホームページについて、もっと多くの会員に利用していただけるように説明を行った。

まず、アンケート調査の結果報告を行い現在のホームページに関する意識と現状を踏まえ、今後は



11月6日(日)「安来市和鋼博物館」において、安来市主催の湾岸道路開通記念第1回なつかみマラソン全国大会が開催されました。県内外から2700余名の選手が参加され、自分達の体力に応じた種目(①ハーフマラソン ②10km ③5km ④2km ⑤ウォーキング6km)を楽しみました。

本会からも「ハーフマラソン」の部に宮崎大介会員が参加し、午前10時鹿之助に扮した甲冑姿の島田安来市長のスタート合図により、博物館前をスタートしました。途中強い

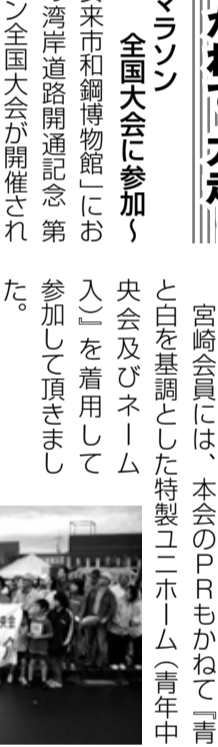


向かい風とアップダウンのコースに苦戦する場面もあったようですが、中海に面した湾岸道路・干拓道路を約1時間40分で完走



宮崎大介会員は、本会のPRもかねて『青年と白を基調とした特製ユニホーム(青年中央会及びネーム入)』を着用して参加して頂きました。

本人の感想は、特製ユニホーム着用は大変照れくさかったそうです。が、コース沿道で『青年頑張れ!』と『宮崎頑張れ!』との声援があり、大変喜んでいました。



(記事・平新)

宮崎大介会員は、本会のPRもかねて『青年と白を基調とした特製ユニホーム(青年中央会及びネーム入)』を着用して参加して頂きました。

本人の感想は、特製ユニホーム着用は大変照れくさかったそうです。が、コース沿道で『青年頑張れ!』と『宮崎頑張れ!』との声援があり、大変喜んでいました。



(記事・平新)

作の内容などNG集をまじえながら苦労話や経緯が伝えられた。

第3部 中央会テレビ番組の収録
中央会テレビ番組にて、三役からの会員募集、各委員会の活動内容をPRする映像を、中央会のパワー、団結力を一般の方にアピールするために例会で収録した。それぞれの持ち時間が2分程度と短い時間ではあるが、各委員会とも自分たちの活動を短い時間でどう表現するのかを考えて、ドラマ、インタビュー、紙芝居形式など、それぞれが趣向をこらしたものであり、この収録内容の本放送が期待される。



(記事・有和)

中央会の重みと価値を知る!

～平成17年度新入会員オリエンテーション開催～



平成17年11月24日(木)18時30分～21時30分「ホテルサンルート米子」にて、みらいづくり委員会主催「平成17年度新入会員オリエンテーション」が開催されました。オリエンテーションには平成17年6月～平成17年11月入会会員を中心に8名が参加いたしました。開会の挨拶として武海会長より「『決断力・判断力』を疑似体験できる場が西部青年中央会である。」として、「『求めれば開かれる』場が西部青年中央会である。」と新入会員に対する激励の言葉からスタートしました。

武海会長より、第31期スローガン「創生」～夢を持って挑めば、必ず実現する～』についての解説、そしてそのスローガンを達成するための具体的な目標、事業計画に関し新入会員に対して説明がありました。参加した新入会員も緊張した面もちで、将来の自分自身を想像しながら聴講していました。次に福田副会長より、新入会員に対して4つの心構えについて説明がありました。

●入会後1年以内を新入会員と呼ぶが、委員会及び例会はもとより他の行事にも積極的に参加し、自分自身をアピールする事。
●「鳥取県西部中小企業青年中央会」の団体名及び「綱領」を憶える事。
●社会人としての常識を身につけて実践する事。例えば、委員会・例会等の欠席、遅刻の際の報告。
●西部青年中央会は経済団体であり、ボランティア団体ではない事。
新入会員オリエンテーションの担当委員会である、みらいづくり委員会より鳥取県西部中小企業青年中央会の会則及び規約、そして歴史・組織に至るまできめ細い説明がありました。続いてメディアコミュニケーション委員会より「雄飛」「ハンサム」会報、そして、ホームページ活用推進のために使用方法について説明がありました。最後に、総評として夏山監事より「積極的な参加により多くの会員との人脈を作ってください」と新入会員に対する期待の言葉がありました。引き続き、懇親会が行われ、「中央会を語る」と題してベテラン会員からの体験談や本音など、非常に有意義でためになるお話がありました。私は平成16年12月に入会後、約1年の歳月が経過していますが改めて西部青年中央会の重み、価値を再認識する事ができました。「英知・友愛・団結」の綱領の基、各方面の期待に応えるべく、積極的な活動を実践していきたいと思っております。



(記事・有和)

あなたの夢はなんですか

今期のスローガン「創生」
夢を持って挑めば、必ず実現する



内田康彦会員
私は、創業して12年、中央会に入会して10年になります。入会当初は創業まもなく、若かったせい、か、会への出席率も50%程度で、事業拡大ばかり頭にあって、仕事第一、中央会のこととは後回しのところがありました。

事業拡大で頭の中は県外のことばかりで、人口の少ない鳥取県より大都市への出店を優先するばかりに足元が見えず、社員や地元の友人、家族等にもかなり迷惑かけました。拡大政策の中、社員300名、店舗77店舗まで拡大しましたが、40歳になる今考えると、地元を大切に、社員、家族が幸

(記事・野田)

県青中30周年！ 次代へシフトアップ！

30周年記念講演会



平成17年11月19日(土)湯梨浜町「ハワイアロハホール」において鳥取県中小企業青年中央会創立30周年記念講演会が開催された。講師は鳥取市出身、HRDエンジニアリング・ディレクター兼任F1チーム「BAR-Honda」シニア・テクニカル・アドバイザーの中本修平氏。

当日は会場にBARのF1マシン展示もあり、講演会は一般の入場者も合わせて会場が埋め尽くされた。中本氏は「現場のF1世界がどういふものか、皆様に伝わればと思います。」と、エンジン開発から車体技術まで、スライドを交えながら細かく、わかりやすく説明された。

質疑応答では日本人ドライバー佐藤琢磨との関係、F1界の裏話など、コアな話も披露され、来場した会員はもとより、コアなF1ファンもうなるほどF1の世界を満喫

できたようだ。

講演の中で中本氏は、何事にも「あきらめない。失敗しても挽回する。柔軟な発想」というホンダスピリットの心がまえや、自分の必要とする人間はどのような人間がいいかという質問には、「答えがないものにぶつかってどうと人」「自分で考えようとする人」「ないものを自分で見つけようとする人」などと話し、世界一を目指す貴族の言葉を聞くことができた。

「F1に携わって5年、F1のてっぺんを取らないと先には進めない。まずは1勝を目指す。」と語る中本氏。そのポジティブな考え方に、自分ももっと自己研鑽をしなければいけないと強く感じた。(記事・景山)

30周年記念式典

30周年記念講演会が大成功に終わったあと、「倉吉シティホテル」において引き続き記念式典が行われた。

式典はまず当会に御尽力頂いた物故者の方々に哀悼の意を込めた黙とうから始まり、続いて綱領唱和、家高謙二17年度会長の挨拶、鳥取県中小企業団体中央会への感謝状及び記念品のピンテーゼワインの贈呈が行われた。そして本当にたくさんのご来賓の方々から祝辞を頂戴した。

終盤には県青中の30年の歩みをまとめた映像がプロジェクターで映され、会の設立された経緯、また設立した当時から現在に至るまでの主な活動内容・活動方針などが年度ごとに紹介された。その映像の最後に鳥取県中小企業青年中央会の生みの親である故中村実会長「私はその最終目標を後継者づくりにかけているが、それは青年中央会への願いでもあり、その成果は青年中央会そのものである。中小企業の明日は青年中央会のメンバーによって素晴らしい未来に開拓されるものと確信している。」という中央会への熱い想いの言葉が紹介されたのが記念式典の最後を飾るのにふさわしく感動的だった。

(記事・濱田)

30周年記念祝賀会



引き続き、18:00より祝賀会が行われた。来賓の方々を中心に景気良く鏡開きが行われ、山口祥義鳥取県商工労働部長のご挨拶で乾杯となった。

しばしの歓談後、アトラクションとして大津昌克県監事の司会でチャリティーオークションが開かれた。このオークションは、本田技研工業株式会社のご好意で非売品のF1グッズなどを提供頂き実現したものだ。

佐藤琢磨直筆(?)サイン入りのパンフレット、BAR Hondaレーシングチームのオフィシャルユニフォーム、中国グランプリのスタッフフリーパス券やフラッグ等々、マニアならずともファンにとって喉から手が出るほど欲しいであろう品々、しかも非売品であるから、オークションでは数万の価値のあるものばかりが次々と競り落とされていったのである。出品物の価値の高さと大津監事の名司会(?)に煽られ、会場も異様な盛り上がりを見せた。大取は山口商工労働部長出品の「山口部長と面談後、課長にお茶を立てて頂き、その後、お話しできる権利」だった。この課長は県職員の中でも優秀な女性だそう。○田県出向監事!落札、おめでとございます!ちなみにオークションの収益金は、県を通し「あしなが育英会」に寄付される予定である。

平野裕章直前会長の中締めで無事お開きとなった。

(記事・牧田)

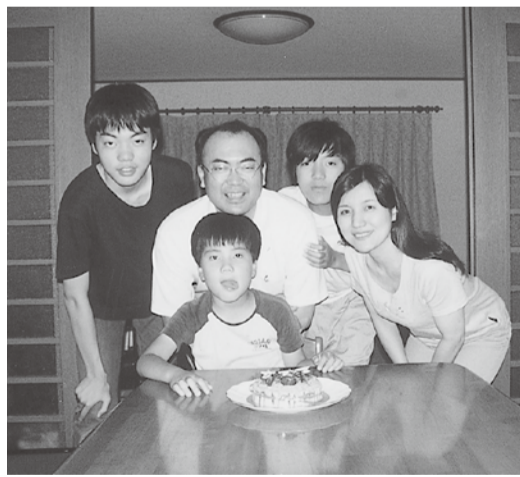
名称の通り、昔懐かしの味(おふくろの味)、手造りの味を存分に楽しんでもらうというお店です。1Fは鉄板を前にカウンター席、2Fはこじんまりとした個室を完備。機会がございましたら、顔をのぞかせてみてください。



松田幸記念員
名 称: おばちゃまキッチン
場 所: 角盤町2丁目10-5
TEL: 0859-31-0511
営業時間: PM5時~AM1時
定休日: 不定休
オープン: H17年11月11日(金)

お店オープン

中央会の思い出の写真も数枚あるものから、放送禁止すれすれの物までありますが、いろいろの面から私を支えてくれた家族がこれからも私の宝物です。



山中隆司会員

注: O副会長と赤ちゃんはまだ多くの他人です。あしからず。
(記事・松田)

3面記事おもしろスタ!

えっ!副会長お子さんがいたの?!



先日、彦名に住む某会員の畑で芋掘大会が行われ、初参加。その時の事である。朝から天気恵まれ、すばらしい芋掘り日より。その中でも一際目立つのが、大きな鉄板を前に八チマキ姿のT会長!かなりの本気モードである。だご存知の通り、本業は看板屋さん。旨く焼きそばを焼く事ができるのか?だがその心配をよそに、フタを開ければその辺の屋台の主人より手際良く焼いておられた。さすが!これぞ会長!と思わせる仕事振り。頭が下がる。

さて話は代わり、本題はというと、またまた出ました!O副会長の隠し子疑惑!新入会員の私に、某カメラ専門の、M会員が「ニコニコしながら、「これは使える!」と言って撮られたのがこの写真である。M会員いわく、「何年に一度必ずこの話題はスクリューされるなあ!」だそうです。その何年に一度の場面に、立会い出来たのも、この芋掘り大会に参加させて頂いたからこそ。芋畑提供者に感謝!T会長、O副会長を3面記事で取り上げるなんて10年早いと思いましたが、どうぞお許しを!

県青中の動き

この度は、県の30周年記念事業に、西部からたくさんのご参加を頂きました事、心より感謝申し上げます。おかげさまで、講演会、記念式典・祝賀会共に大きなミスもなく、うれしいハプニング(山口商工労働部長のオークション出品)で大成功に終わる事が出来ました。ありがとございませした。記念講演会では一般の方も多く来場されており、鳥取県中小企業青年中央会もしっかりと宣伝でき、認知して頂いた事と思えます。

今後の県の事業としましては、委員長交流会、オリエンテーション、海外研修などがございませす。30周年記念事業も「記念誌」の発行がまだ残っておりまして、これからの半年間は編集作業に携わる事になるうかと思えます。ご期待に添えるよう精一杯頑張りますので、皆様のご協力の程、重ねてお願い申し上げます。

最後に、今回の記念事業は中部の方を中心に、東部・西部が協力し合い企画・運営を行いました。また、県事務局の北浦さんにもお世話になりました。色々ありましたが、この場をお借りして一言、「お疲れ様でした!」。

(記事・牧田県出向)

記者が選ぶ!突撃! 気になるOB会員を訪ねて...

景 幹雄 OB



今回は景OBの近況報告ではなく、御本人の現役時代時代の思い出話を取材させて頂きました。その中で、「オールジャパンユニオンアスロンIN岸本(以下チビトラ)を元に西部青年中央会の当時のエネルギー、いま失われつつあるものについて御意見を頂きました。

「時代の流れかもしれないけど昔と違って今はつるさい人が少なくなってきたかな。今後中央会がどうあるべきかについては現在の会員が考えるべきだけど、5年後、10年後の時代の先を読んで活動ができればいいと思う。」と述べられました。

「景OB会員を訪ねた理由」
私と景OBとは仕事上のつながりがあって私が中央会に入会する以前から面識がありました。しかし、これまで景OBが現役会員だった頃のお話を聞かせて頂いた事がなかったため、これを機会にと取材させて頂きました。景OB会員には約2時間の長時間にわたり取材に付き合ってもらった事でございました。今後益々のご活躍を期待しています。

(記事・濱田)

11月度委員会報告

- メディアコミュニケーション委員会**
平成17年11月10日(木) 於: ホテルサンルート米子 出席者/17名
議題/担当例会リハーサル、ハンサム、HP、中央会番組について
- みらいづくり委員会**
平成17年11月9日(水) 於: 米子ニューアークホテル 出席者/9名
議題/講師: 国土交通省出雲川事務所 水環境課 課長 湯浅丈司氏 「中海の水環境について」の講演
新入会員オリエンテーション、1月担当例会について
- 政治行政委員会**
平成17年11月11日(金) 於: 米子ニューアークホテル 出席者/11名
議題/2月担当例会について
- ビジネス交流委員会**
平成17年11月4日(金) 於: 米子食品会館 出席者/8名

議題/担当例会(OB交流会)の反省について

- 司法問題研究委員会**
平成17年11月9日(水) 於: ホールサムインかいけ 出席者/9名
議題/企業として裁判員制度にどう取り組むべきかについて
- 総務委員会**
平成17年11月4日(金) 於: ホールサムインかいけ 出席者/14名
議題/忘年例会について
- ビジョン検討委員会**
平成17年11月11日(金) 於: 米子食品会館 出席者/9名
議題/皆生トリアスロンに対する当会協力体制の在り方について

*役員会報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。
*詳細については各委員長までご参照ください。

12月役員会報告

12月定例役員会が平成17年12月1日(木)、ホテルサンルート米子にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
・12月忘年例会の件
・1月例会の件
*なお、詳細については委員長までご参照ください。

12月忘年例会案内

と き: 平成17年12月15日(木) 18:50 着座 19:00 開会
ところ: ホテルサンルート米子
内 容: 来賓、OB会員をお招きして、アトラクション等を行う。
担 当: 総務委員会、ビジョン検討委員会